

## 北方四島を返せ

プーチン大統領の訪日は北方四島の返還があるのではないかとの期待がありましたが、現実はそのような甘いものではありませんでした。プーチンは北方四島は第二次世界大戦によって獲得した領土であってわが国には領土問題はないと言っています。平和条約の締結は大事だと言っていますが、北方四島を返還して平和条約を結ぶとは言っていません。安倍総理はいろいろとご苦労されているようですが、日本国民がそれ程北方四島を返せと言っていないところに問題があるようです。また日本はソ連が火事場泥棒的に不法に対日参戦したとか、ポツダム宣言やサンフランシスコ平和条約に参加していないとか、国際法的に北方四島の侵略には違反があるという議論が多くあります。アメリカの大統領(ルーズベルト)でさえ、北方四島の帰属に対して日本に不利な外交を行っているようです。日米戦争や日本占領政策で暗躍したソ連のスパイが、ここでも暗躍しています。

日本が憲法 9 条を改正し、国軍を持った、真の主権国家とならない限り、北方四島は帰らないと思います。北朝鮮による拉致問題も同じだと思います。中国、韓国との問題も同じだと思います。すなわち敵国(相手国)に返すメリットが無ければ、永遠に利用されるだけでしょう。国際法等これらの国々には通用しません。

沖縄返還前に「沖縄を返せ」という歌があり、小生も労働組合の集会などで良く歌いました。「沖縄を返せ」と繰り返す歌詞が今でも思い出せるくらいです。北方四島を返せという歌は無いものかと思ってネットで調べたら、これがありました。沖縄のときと違って、WEB から音声で届きます。それなのに、沖縄返還のときと違って、四島返還のムードが盛り上がっていないのは何故でしょうか。国民はあきらめているのでしょうか、それとも本当に返還されてもされなくても良いと考えているのでしょうか。

私はやはり、これは、占領政策により日本人の魂が抜き取られてしまったことに起因しているのではないかと思います。「カエルの楽園」に満足してしまっているためだと思います。

戦争で獲得した領土は自国のもので、わが国には領土問題はないと言っているのであれば、戦争で、取り返すぞという意気込みが無ければ、絶対に帰ってこないと考えますがどうでしょうか。この勢いで千島列島だって取り戻すくらいの国力がなければ、四島の返還は夢物語に終わるでしょう。

国際法を盾に交渉することは大事ですが、これは、大事な時にはほとんど役立っていないのが歴史の示すところです。現にロシアは国際的に経済制裁を受けています。経済制裁も少しお灸をすえる程度ですね。国際社会が本気で経済制裁をしたら、過去の日本と同じように戦争に突入せざるを得なくなります。歴史は本当に繰り返しですね。

永い歴史の中でこの問題がどうなるのか判りませんが、私たちにできることは、何としても憲法九条を改正して、先進技術も経済も含めて強い国家にするように、国民の一人として、活動することだと思います。

2016年12月17日廣瀨博